

《企業紹介》

同社はベトナム最大のコングロマリットであるビンググループ (VIC) の傘下において、住宅用不動産開発と住宅販売、住宅賃貸運営などの事業を手掛けている。コンドミニウム (マンション) のベトナムでの販売シェアは 30.7% (2016 年 1 月から 2026 年 3 月までの累計値) で国内首位、ハイエンドコンドミニウムに限ると販売シェア 36.4% (同) となっており、強力なブランド力を背景にこのセグメントでは競合他社を圧倒している。ブランド価値や顧客のロイヤルティ向上を図るため、環境対応や IT 技術の応用も積極的に進め、ベトナムで増大する中高所得層の囲い込みを進める考えだ。また、事業構造の多角化を図るために産業用不動産開発事業にも進出している。

《2026 年 1—3 月期業績》

2026 年 1—3 月期の売上高は前年同期比 314.8% 増の 65.1 兆 VND (ベトナムドン) と大幅に増加した。2025 年 12 月末時点で受注残高が 186.4 兆 VND に達しており、これが順調に消化されているとみられる。ハノイやホーチミンでコンドミニウムの需要回復が続いていることに加え、販売価格が堅調に推移していることなどにより収益性の改善が一段と進んだようで、粗利益率が同 15.3% ポイント上昇の 48.2% となった。大幅な増収と粗利益率の改善によって粗利益は同 508.2% 増の 31.3 兆 VND となっている。また、順調な受注残の消化により販売効率が改善し、販売費が同 49.2% 減の 3,719 億 VND、一般管理費が同 31.4% 減の 9,419 億 VND に減少したため、営業利益は同 702.5% 増の 30.7 兆 VND となった。税引前利益は同 700.3% 増の 30.7 兆 VND、純利益は同 850.3% 増の 25.5 兆 VND となった。

2026 年 1—3 月期の受注高は同 133.4% 増の 81.7 兆 VND とこちらも大幅に増加しており、受注残高も同 68.0% 増の 201.6 兆 VND に拡大している。2026 年 4—6 月期以降の売上高も 1—3 月期と同等以上の高水準の伸びが維持される可能性が高い。同社は 2026 年 12 月期について、売上高を前期比 56% 増の 285 兆 VND、税引後利益を同 38% 増の 60.兆 VND と計画している。進捗率は売上高が 23%、税引後利益が 43% となっている。受注状況から考えると、新規開発案件の販売立ち上げ等を含め、計画は順調に進捗していると考えられる。

図表1 四半期業績の推移 (単位 十億VND)

	2025年1-3月期		2025年4-6月期		2025年7-9月期		2025年10-12月期		2026年1-3月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
売上高	15,697.9	91.2	19,022.2	-33.0	16,420.0	-50.7	103,009.5	217.8	65,114.2	314.8
粗利益	5,157.9	190.7	4,523.8	-47.9	2,465.7	-74.7	33,622.5	163.6	31,369.6	508.2
(粗利益率、%、%ポイント)	32.9	11.2	23.8	-6.8	15.0	-14.2	32.6	-6.7	48.2	15.3
販売費	732.2	89.4	301.0	-69.6	447.8	-72.5	308.4	-60.7	371.9	-49.2
一般管理費	1,372.5	161.4	1,246.2	64.0	1,230.7	11.0	2,431.9	10.6	941.9	-31.4
金融収支(マイナスは収入)	-780.9	-	-5,765.3	-	-4,452.0	-	-1,749.2	-	-717.8	-
営業利益	3,835.1	164.4	8,742.6	-29.9	5,240.1	-52.2	32,631.1	91.2	30,774.7	702.5
税引前利益	3,839.5	171.1	9,105.6	-26.2	5,420.4	-50.0	32,985.8	103.0	30,726.8	700.3
純利益	2,689.0	203.9	7,553.4	-30.6	4,183.9	-46.8	26,726.2	119.8	25,551.9	850.3

出所 会社資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20260512

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

ビンホームズ(VHM)



《株価の推移》

同社の株価とVN指数を2025年末の終値を100としてそれぞれを指数化したものが図表2である。同社の株価は前年の大幅な上昇の反動で、3月まではVN指数をアンダーパフォームする状況がみられたが、4月からは急速な上昇によって、アウトパフォームに転じている。5月11日時点でVN指数が2025年末比6%の上昇となっているのに対して、同社の株価は同30%の上昇となっている。5月11日の終値161,000VNDで計算した時価総額は661.2兆VNDであり、この水準は2025年12月期実績の純利益41.1兆VNDの16倍となっている。

2025年10-12月期に引き続き、2026年1-3月期も高水準の業績拡大がみられるうえ、受注高や受注残高も高水準が続いていることを受け、今後の業績拡大期待が高まり、株価パフォーマンスが改善をみせている。切れ目なく準備されている開発案件、住宅市場の好転、競争力の改善なども株価パフォーマンスを後押ししているとみられる。ベトナム株式市場がフロンティア市場から新興国市場へ格上げされることによる需給改善期待も引き続き株価パフォーマンスの下支え要因になっているとみられ、今後も良好な株価パフォーマンスの継続が期待できる状況にあるといえそうだ。

図表2 株価の推移



出所 各種データをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20260512

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。